

茨城県感染症流行情報

INFECTIOUS DISEASE WEEKLY REPORT IBARAKI

2026年第32週
(08月03日～08月09日)

【今週の全数把握対象疾患報告数】

- ・2類感染症:結核10件
- ・3類感染症:腸管出血性大腸菌感染症10件
- ・4類感染症:日本紅斑熱1件、レジオネラ症1件
- ・5類感染症:水痘(入院例に限る)1件、多剤耐性緑膿菌感染症2件、梅毒2件、百日咳1件

令和8(2026)年08月13日発行

【掲載日について】

週報のホームページ掲載は、原則毎週木曜日16:00以降の予定です。

ただし、祝日等の関係により、掲載日が木曜日以降となる場合があります。

また、年末年始や大型連休等の場合は前もって次号掲載予定日をお知らせします。

- ・ この情報は、速報性を重視しておりますので、今後、数値に若干の変更が生じる場合があります。
- ・ 全国の感染症発生動向情報につきましては、国立健康危機管理研究機構 感染症情報提供サイト (<https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>) をご覧ください。

定点把握対象疾患のうち、性感染症定点(性器クラミジア感染症、性器ヘルペス感染症、尖圭コンジローマ、淋菌感染症)および基幹定点(メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症、ペニシリン耐性肺炎球菌感染症)については、別途月報に掲載しています。

茨城県感染症情報センター

Ibaraki Infectious Disease Surveillance Center



茨城県衛生研究所【編集・発行】

電話:029-241-6652

FAX:029-243-9550

全数把握対象疾患 報告数 2026年第32週

類型	疾患名	茨城県(診断週)					
		28週	29週	30週	31週	32週	年累計
1類	エボラ出血熱						
	クリミア・コンゴ出血熱						
	痘そう						
	南米出血熱						
	ペスト						
	マールブルグ病						
	ラッサ熱						
2類	急性灰白髄炎						
	結核	7	11	3	5	10	232
	ジフテリア						
	重症急性呼吸器症候群						
	中東呼吸器症候群						
	鳥インフルエンザ(H5N1)						
	鳥インフルエンザ(H7N9)						
3類	コレラ						
	細菌性赤痢				1		4
	腸管出血性大腸菌感染症	2	6	6	1	10	50
	腸チフス						
	パラチフス						
4類	E型肝炎		1	1			19
	ウエストナイル熱						
	A型肝炎						5
	エキノコックス症						
	エムポックス						
	黄熱						
	オウム病						
	オムスク出血熱						
	回帰熱						
	キャサナル森林病						
	Q熱						
	狂犬病						
	コクシジオイデス症						
	ジカウイルス感染症						
	重症熱性血小板減少症候群						1
	腎症候性出血熱						
	西部ウマ脳炎						
	ダニ媒介脳炎						
	炭疽						
	チクングニア熱						
	つつが虫病						1
	デング熱						
	東部ウマ脳炎						
	鳥インフルエンザ(H5N1、H7N9除く)						
	ニパウイルス感染症						
	日本紅斑熱			1		1	4
	日本脳炎						
	ハンタウイルス肺症候群						
	Bウイルス病						
	鼻疽						
	ブルセラ症						
	ベネズエラウマ脳炎						
	ヘンドラウイルス感染症						
	発しんチフス						
	ボツリヌス症						
	マラリア						

全数把握対象疾患 報告数 2026年第32週

類型	疾患名	茨城県(診断週)					
		28週	29週	30週	31週	32週	年累計
4類	野兎病						
	ライム病						
	リッサウイルス感染症						
	リフトバレー熱						
	類鼻疽						
	レジオネラ症	6	5	4	4	1	59
	レプトスピラ症						
	ロッキー山紅斑熱						
5類 (全数)	アメーバ赤痢						7
	ウイルス性肝炎(E型・A型肝炎を除く)						3
	カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症			1			9
	急性弛緩性麻痺						
	急性脳炎						5
	クリプトスポリジウム症						
	クロイツフェルト・ヤコブ病						3
	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	1					9
	後天性免疫不全症候群	1			1		14
	ジアルジア症						
	侵襲性インフルエンザ菌感染症	1					7
	侵襲性髄膜炎菌感染症						2
	侵襲性肺炎球菌感染症	2	1	1			44
	水痘(入院例に限る)	1	1			1	18
	先天性風しん症候群						
	多剤耐性緑膿菌感染症(※)		1	1	1	2	8
	梅毒	2	4	3	4	2	106
	播種性クリプトコックス症						
	破傷風						
	バンコマイシン耐性黄色ブドウ球菌感染症						
	バンコマイシン耐性腸球菌感染症						
	百日咳	2	3	2	3	1	102
	風しん						
	はしか(麻しん)						7
	薬剤耐性アシネトバクター感染症						

(※)2026年4月6日(2026年第15週)より全数把握対象疾患に追加

<2026年第32週の保健所別報告数>

疾患名	保健所名										合計
	中央	ひたちなか	日立	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	古河	水戸市	
結核	2	0	1	1	1	1	1	0	2	1	10
腸管出血性大腸菌感染症	0	0	0	1	2	3	2	0	0	2	10
日本紅斑熱	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1
レジオネラ症	0	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
水痘(入院例に限る)	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
多剤耐性緑膿菌感染症(※)	0	0	0	0	0	0	1	1	0	0	2
梅毒	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	2
百日咳	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	1

定点把握対象疾患 定点当たり報告数 2026年第32週

定点種別	疾患名	茨城県					
		28週	29週	30週	31週	32週	
		定点当	定点当	定点当	定点当	定点当	報告数
急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	0.16	0.25	0.46	0.60	0.51	35
	新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)	1.22	1.43	1.09	1.40	2.28	155
	急性呼吸器感染症(※)	55.29	56.87	48.35	51.01	46.90	3,189
小児科	RSウイルス感染症	0.11	0.26	0.24	0.34	0.55	21
	咽頭結膜熱	0.21	0.18	0.32	0.21	0.16	6
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3.87	4.21	3.11	2.42	1.61	61
	感染性胃腸炎	4.16	3.61	3.74	2.68	3.61	137
	水痘	0.53	0.21	0.18	0.11	0.08	3
	手足口病	5.24	9.24	9.68	9.42	5.76	219
	伝染性紅斑	0.05	0.03	0.18	0.00	0.00	0
	突発性発しん	0.37	0.29	0.26	0.29	0.18	7
	ヘルパンギーナ	1.76	2.45	2.42	2.63	1.39	53
	流行性耳下腺炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08	3
眼科	急性出血性結膜炎	0.00	0.00	0.00	0.06	0.00	0
	流行性角結膜炎	1.06	1.18	0.88	1.00	1.29	22
基幹	細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0
	無菌性髄膜炎	0.00	0.08	0.15	0.15	0.00	0
	マイコプラズマ肺炎	0.15	0.62	0.85	0.46	0.38	5
	クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0
	感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0

(※) 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ、医師が感染症を疑う外来症例

＜今週のコメント＞

＜腸管出血性大腸菌感染症(EHEC)の報告が増えています＞

茨城県では、第32週に腸管出血性大腸菌感染症(EHEC)の報告が10例あり、2026年ではこれまでで最も報告が多い週となりました。

2026年第1週から第32週までの累積報告数は50例で、性別では女性がやや多く、年代別では幅広い年代から報告されています。また、地域別では、県南地域からの報告が多く、類型別では発症者(患者)だけでなく、症状のない方(無症状病原体保有者)も同数報告されています。

EHECは、ペロ毒素を産生する大腸菌による感染症で、主に菌に汚染された食品(肉類など)を介して感染します。また、患者の便などに含まれる菌が手指を介して口に入ること、ヒトからヒトへ感染することもあります。感染すると、腹痛、水様性下痢、血便などの症状がみられ、重症化すると溶血性尿毒症症候群(HUS)等を引き起こすことがあります。

EHECは、気温が高い時期に報告が多くなる傾向があります。予防のため、生肉や加熱不十分な肉類の喫食を避け、肉類は中心部まで十分に加熱しましょう。また、生肉を扱った箸や調理器具は他の食品と使い分け、食事前やトイレの後には石けんと流水による手洗いを徹底しましょう。

直近5年間に於ける茨城県の腸管出血性大腸菌感染症(EHEC)の
診断月別累積報告数(2022年～2026年第32週、n=419)

診断月	2022年(n=89)	2023年(n=88)	2024年(n=105)	2025年(n=87)	2026年(n=50)
1月	2	1	1	1	1
2月	1	1	1	1	1
3月	1	1	1	1	1
4月	1	1	1	1	1
5月	1	1	1	1	1
6月	1	1	1	1	1
7月	1	1	1	1	1
8月	1	1	1	1	1
9月	1	1	1	1	1
10月	1	1	1	1	1
11月	1	1	1	1	1
12月	1	1	1	1	1

基本属性(2026年第1週～第32週、n=50)

	報告数	割合
性別		
男性	22	45%
女性	28	57%
年代		
10歳未満	2	4%
10代	6	12%
20代	11	22%
30代	5	10%
40代	10	20%
50代	9	18%
60代以上	7	14%
患者居住地(地域)		
県北	6	12%
県央	6	12%
県行	3	6%
県南	25	51%
県西	6	12%
県外	4	8%
類型		
患者	26	53%
無症状病原体保有者	24	49%

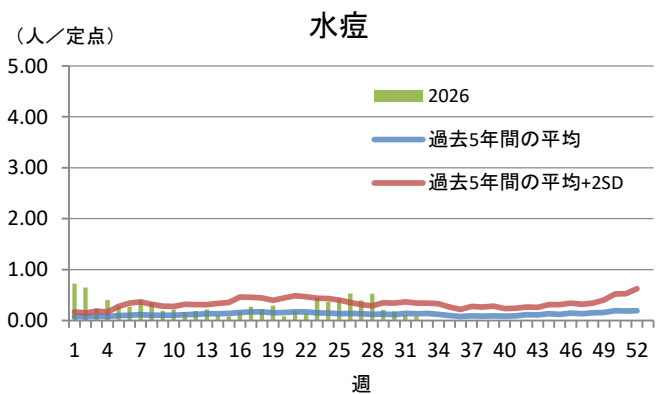
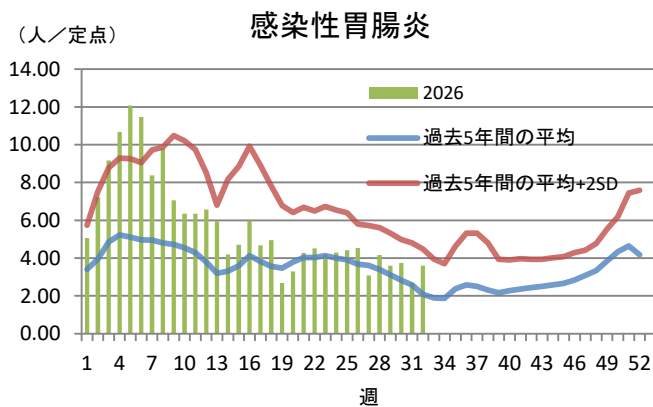
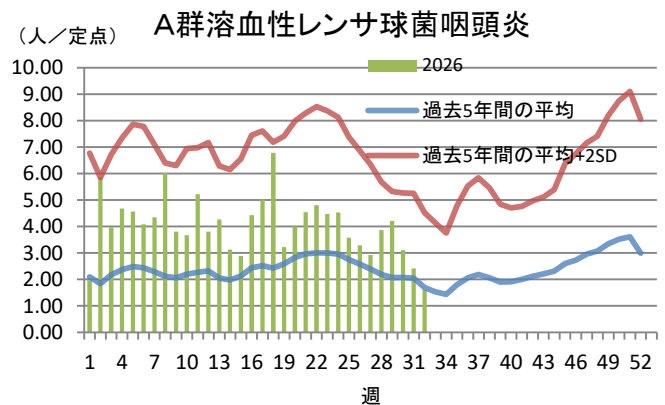
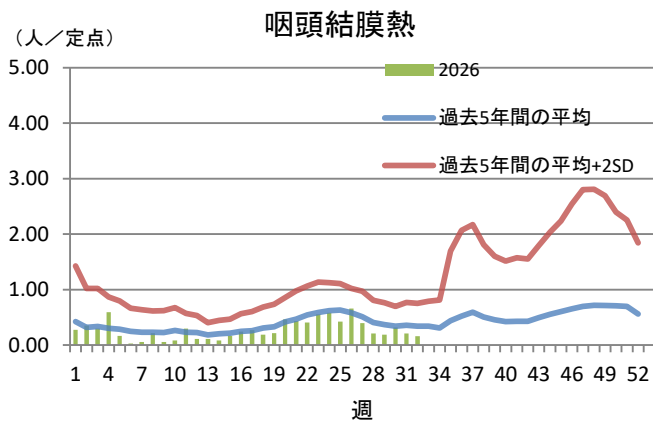
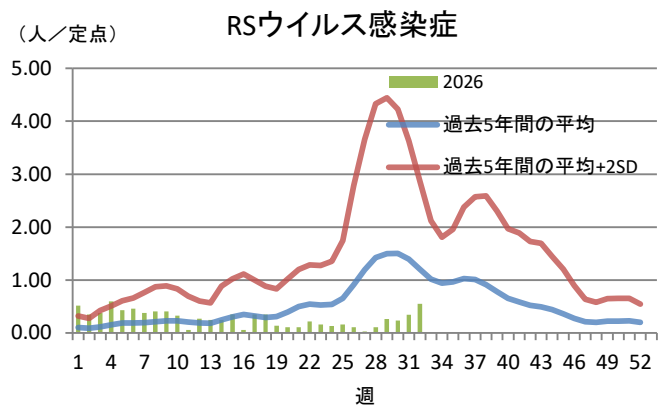
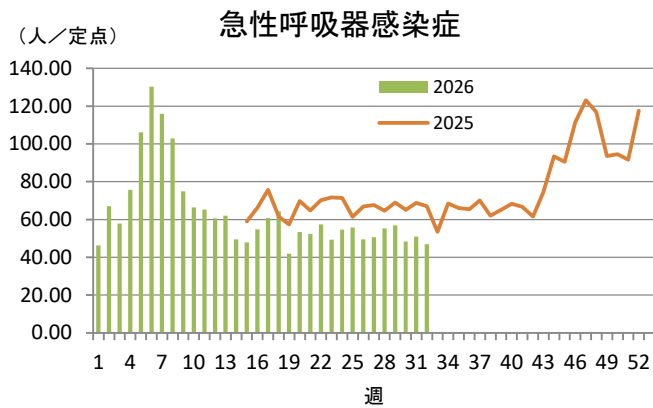
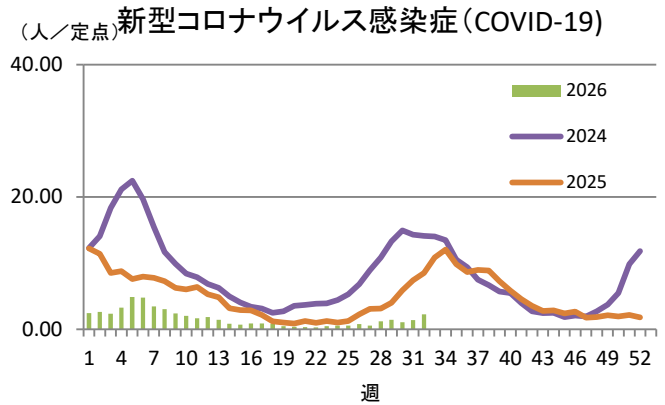
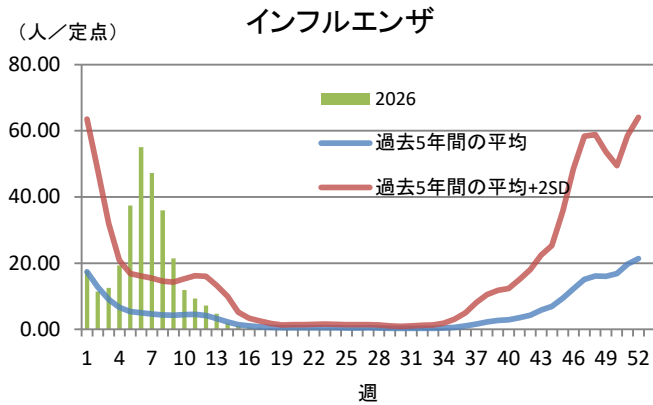
(この情報は、速報性を重視しておりますので、今後、数値に若干の変更が生じる場合があります。)

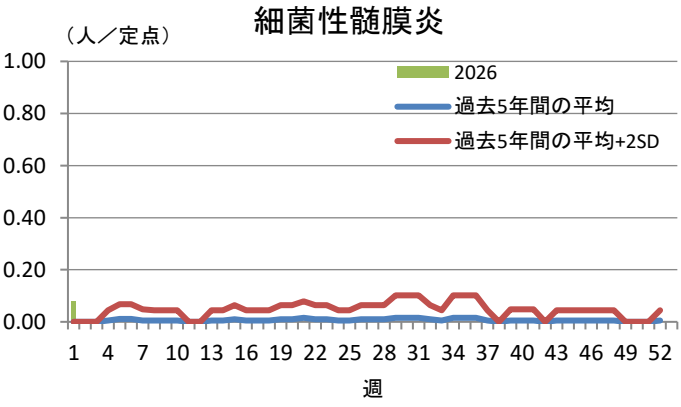
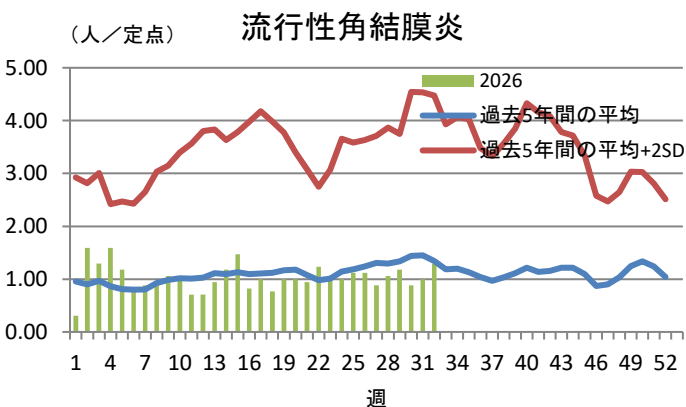
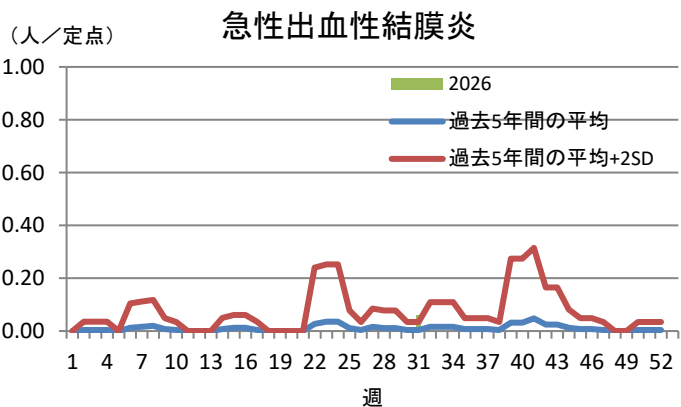
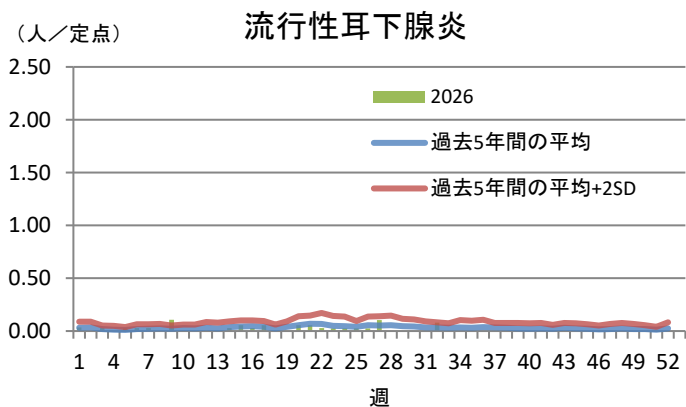
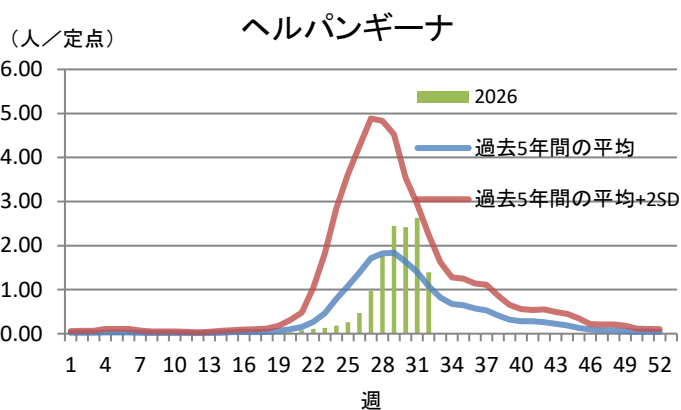
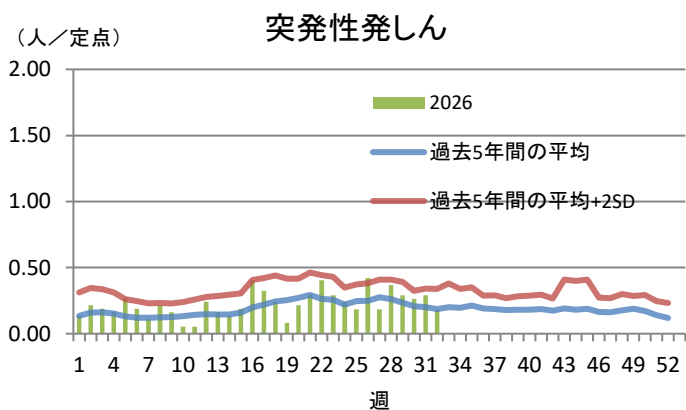
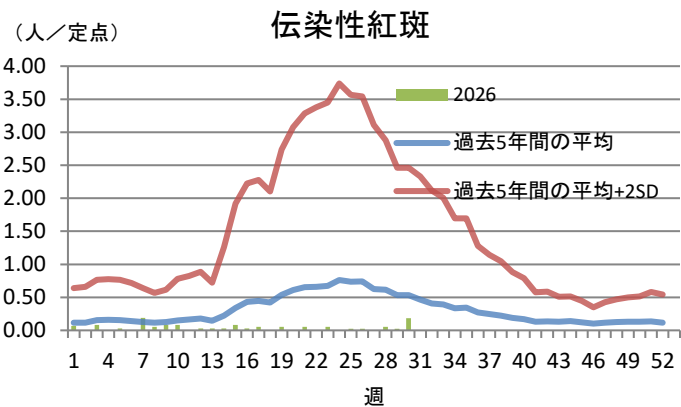
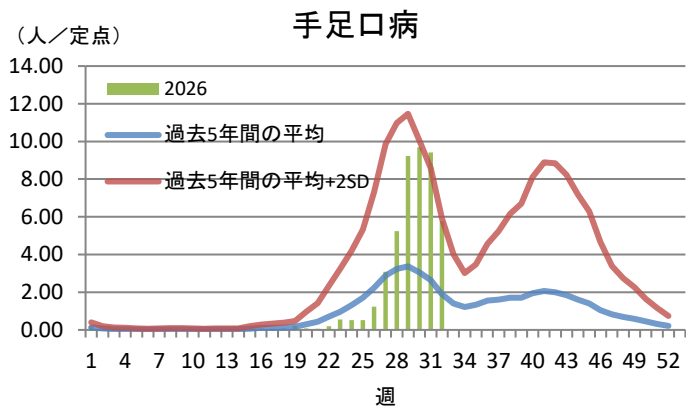
【定点把握対象疾患】保健所別 定点当たり報告数及び報告数 2026年第32週

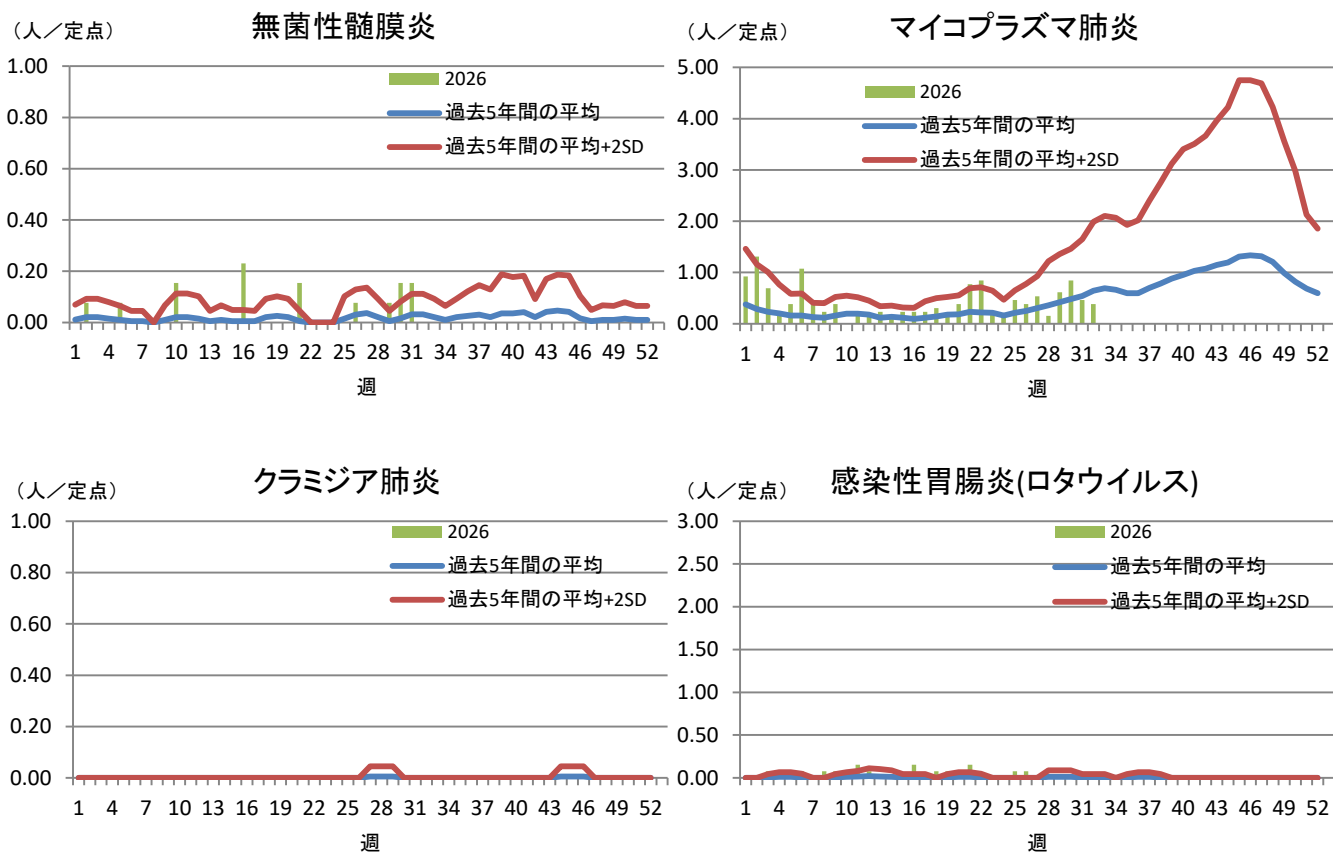
定点種別	疾患名/保健所		中央	ひたち なか	日立	潮来	竜ヶ崎	土浦	つくば	筑西	古河	水戸市	定点当 計
急性呼吸器感染症 (ARI)	インフルエンザ	定点当	0.25	0.13	0.20	0.33	0.64	1.00	0.22	0.29	0.00	1.86	0.51
		報告数	1	1	1	2	7	6	2	2		13	35
	COVID-19	定点当	0.75	4.50	2.20	2.50	2.00	2.83	1.67	0.57	0.20	4.43	2.28
		報告数	3	36	11	15	22	17	15	4	1	31	155
	急性呼吸器感染症 (※)	定点当	34.25	57.25	61.40	20.33	37.18	88.17	36.67	31.14	36.80	70.71	46.90
		報告数	137	458	307	122	409	529	330	218	184	495	3,189
小児科	RSウイルス	定点当	0.00	0.20	0.00	0.00	0.17	1.00	0.80	0.25	0.33	2.50	0.55
		報告数		1			1	3	4	1	1	10	21
	咽頭結膜熱	定点当	0.00	0.00	0.33	0.33	0.17	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.16
		報告数			1	1	1	3					6
	A群溶血性レンサ 球菌咽頭炎	定点当	0.50	1.60	0.67	0.00	0.00	2.67	7.40	0.25	0.33	0.75	1.61
		報告数	1	8	2			8	37	1	1	3	61
	感染性胃腸炎	定点当	0.50	8.00	4.67	1.00	1.50	1.00	2.80	4.50	2.67	6.75	3.61
		報告数	1	40	14	3	9	3	14	18	8	27	137
	水痘	定点当	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08
		報告数			3								3
	手足口病	定点当	3.00	8.00	5.00	1.67	2.83	11.67	4.00	9.00	4.00	8.25	5.76
		報告数	6	40	15	5	17	35	20	36	12	33	219
	伝染性紅斑	定点当	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		報告数											0
	突発性発しん	定点当	0.00	0.00	0.33	0.00	0.00	1.00	0.20	0.50	0.00	0.00	0.18
		報告数			1			3	1	2			7
	ヘルパンギーナ	定点当	0.00	0.40	2.00	1.67	1.17	5.00	1.20	1.50	1.00	0.75	1.39
		報告数		2	6	5	7	15	6	6	3	3	53
	流行性耳下腺炎	定点当	0.00	0.00	0.33	0.33	0.00	0.33	0.00	0.00	0.00	0.00	0.08
		報告数			1	1		1					3
眼科	急性出血性結膜炎	定点当	-	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		報告数											0
	流行性角結膜炎	定点当	-	2.00	1.00	1.00	0.00	0.00	1.50	5.00	0.00	2.33	1.29
		報告数		4	2	1			3	5		7	22
基幹	細菌性髄膜炎	定点当	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		報告数											0
	無菌性髄膜炎	定点当	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		報告数											0
	マイコプラズマ肺炎	定点当	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.50	1.00	0.00	1.00	0.38
		報告数			2				1	1		1	5
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)	定点当	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		報告数											0
	感染性胃腸炎 (ロタウイルス)	定点当	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
		報告数											0

(※) 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ、医師が感染症を疑う外来症例

【定点把握対象疾患】週別 定点当たり報告数の推移(2026年第32週時点)







- 週ごとの定点当たり報告数を示しています
- 過去5年間の定点当たり報告数の平均を示しています
- 「過去5年間の定点当たり報告数の平均+2SD」を示しています

<定点当たり報告数とは>

定点当たり報告数とは、すべての定点医療機関からの報告数を定点医療機関数で割り算した値です。言いかえると、1医療機関当たりの平均報告数のことです。

<週ごとの定点当たり報告数(■)が過去5年間の平均+2SD(■)を超えることの意味>

SDは標準偏差(Standard Deviation)の略で、データのばらつきを示す統計学の指標です。週ごとの定点当たり報告数が「過去5年間の平均+2SD(標準偏差の2倍)」を超えることは統計学的に見て稀なことであり、その感染症が過去5年間と比較して多く発生していることを示しています。

保健所別定点医療機関数

保健所名	定点種別					
	急性呼吸器感染症 (ARI)	小児科	眼科	性感染症	基幹	疑似症
中央	4	2	0	1	1	1
ひたちなか	8	5	2	2	1	3
日立	5	3	2	2	2	1
潮来	6	3	1	2	1	1
竜ヶ崎	11	6	3	3	2	2
土浦	6	3	2	3	1	1
つくば	9	5	2	2	2	2
筑西	7	4	1	3	1	1
古河	5	3	1	1	1	2
水戸市	7	4	3	3	1	1
計	68	38	17	22	13	15

【定点把握対象疾患】年齢別報告数 2026年第32週

●急性呼吸器感染症（ARI）定点

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳
インフルエンザ	0	0	2	1	0	1	1	0	3	2	1	0
COVID-19	2	3	11	15	6	6	9	5	6	3	5	8
急性呼吸器感染症(※)	164			1005				517				192

	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～	合計
インフルエンザ	1	3	4	2	1	6	5	2	35
COVID-19	4	9	11	13	14	8	10	7	155
急性呼吸器感染症(※)	89	139	157	172	159	137	214	244	3,189

(※) 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ、医師が感染症を疑う外来症例

●小児科定点

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳
RSウイルス感染症	1	4	10	4	0	1	0	0	0	0	0	1
咽頭結膜熱	0	1	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0	0	5	4	5	8	9	8	2	1	5	6
感染性胃腸炎	1	9	13	14	6	5	7	14	7	11	8	15
水痘	0	0	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0
手足口病	4	29	78	56	17	15	8	3	3	0	1	2
伝染性紅斑	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
突発性発しん	0	0	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	1	4	12	13	6	5	3	2	0	2	1	2
流行性耳下腺炎	0	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1	1

	～19歳	20歳～	合計
RSウイルス感染症	0	0	21
咽頭結膜熱	0	1	6
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	3	5	61
感染性胃腸炎	5	22	137
水痘	0	0	3
手足口病	1	2	219
伝染性紅斑	0	0	0
突発性発しん	0	0	7
ヘルパンギーナ	0	2	53
流行性耳下腺炎	0	0	3

●眼科定点

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	0	0	0	0	1	1	2	0	0	1	1

	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳～	合計
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	0	2	2	5	3	1	3	22

●基幹定点

	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	1	0	0	0	0	2	1	1
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳～	合計
細菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
無菌性髄膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0
マイコプラズマ肺炎	0	0	0	0	0	0	0	0	5
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	0	0	0	0	0	0	0	0	0
感染性胃腸炎(ロタウイルス)	0	0	0	0	0	0	0	0	0

茨城県のインフルエンザ入院患者の概況(2026年第32週時点)

入院患者の届出数

年齢別 / 期間		第32週	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計 ※1
入院患者数(※1)			102人	78人	15人	5人	4人	1人	2人						207人
年齢別 内訳	1歳未満		3人	7人											10人
	1～4歳		2人	7人	2人										11人
	5～9歳		7人	16人	2人	1人									26人
	10～14歳		4人	11人	4人										19人
	15～19歳		2人	2人	1人										5人
	20～29歳		3人	3人		1人									7人
	30～39歳		4人	4人	1人										9人
	40～49歳		2人	4人											6人
	50～59歳		4人	1人		1人									6人
	60～69歳		7人	5人	2人										14人
	70～79歳		22人	8人		1人	1人	1人							33人
	80歳以上		42人	10人	3人	1人	3人		2人						61人

(※1) 基幹定点医療機関からのインフルエンザによる入院患者報告数

・全国のインフルエンザによる入院患者の概況は、厚生労働省ホームページを参照

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryuu/kenkou/kekkaku-kansenshou01/houdou_00023.html)

茨城県の新型コロナウイルス感染症(COVID-19)入院患者の概況(2026年第32週時点)

入院患者の届出数

年齢別 / 期間		第32週	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計 ※2
入院患者数(※2)		1人	137人	284人	82人	38人	8人	18人	18人	1人					586人
年齢別 内訳	1歳未満		1人	2人		2人									5人
	1～4歳		2人		2人	1人	1人		3人						9人
	5～9歳		1人						1人						2人
	10～14歳								1人						1人
	15～19歳			1人					1人						2人
	20～29歳			1人											1人
	30～39歳		2人	1人											3人
	40～49歳		3人	4人	1人	3人	1人								12人
	50～59歳		4人	15人	2人	2人	1人	1人	2人						27人
	60～69歳		10人	40人	11人	3人		3人	2人						69人
	70～79歳	1人	43人	82人	26人	7人	5人	6人	1人	1人					171人
	80歳以上		71人	138人	40人	20人		8人	7人						284人

(※2) 基幹定点医療機関からのCOVID-19による入院患者報告数

・全国のCOVID-19による入院患者の概況は、厚生労働省ホームページを参照

(https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/0000121431_00485.html)